

# 令和6年度 経営発達支援計画 事業評価報告書

実施期間（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

令和7年2月21日



商談会出展事業（地方銀行フードセレクション2024・ビジネスマッチ東北2024）

## 【評価基準】

- A：目標値が達成できており、効果が認められるもの、または期待できるもの
- B：目標値がおおむね達成できており、ある程度の効果が認められるもの、または期待できるもの
- C：目標値を大きく下回っており、取り組み方法の見直しが必要なもの
- D：計画が実行されておらず、評価ができないもの（計画そのものの見直しが必要なもの）



東白川地区商工会広域連携協議会  
塙町商工会 棚倉町商工会  
矢祭町商工会 鮫川村商工会



## 実施内容と自己評価

## 評価委員による評価

### 1. 地域の経済動向調査に関すること

#### ◆ 計画の概要

景気動向調査・景況調査の実施及び国が提供するビッグデータの活用

#### ◆ 実施内容

- ・福島県商工会連合会が実施する中小企業景況調査を15事業者に対して4半期に1回実施  
(15事業者：建設業4者、製造業4者、小売業5者、サービス業2者)
- ・全国及び国の景況調査資料を活用し、経済動向を東白川の調査結果と比較
- ・調査結果は、全国及び県が公表している景況調査資料と一緒に埴町商工会ホームページの「経営発達支援事業」のページで公表（他町村商工会HPにはリンクを作成）
- ・地域経済分析システム（RESAS）の傾向分析を事業計画書策定の際に活用
- ・RESAS東白川地区動向サマリーとして、埴町商工会HP「経営発達支援事業」で公表

※別紙HP掲載を抜粋

#### ◆ 目標

	公表方法	目標	実績
①景況調査公表回数	HP掲載	4回	4回
②ビッグデータの公表回数	HP掲載	1回	1回

#### ◆ 自己評価

景況調査及びビッグデータ共に目標件数を達成することができた。

景況調査のヒアリングの際は、より細かな経営課題を把握できるように努めた。

ビッグデータを活用し、消費者行動心理の理解やどの商品開発に力をいれるべきか等を把握し、顧客満足度を高めることで売上拡大支援に役立てたい。

### 1. 地域の経済動向調査に関すること

	A	B	C	D
評価	7	2	0	0

#### ■ 評価委員コメント欄

- ・調査した報告だけでなく、調査結果の報告もほしい
- ・目標達成は素晴らしい
- ・引き続き顧客満足へ・・・
- ・東白川のRESASデータの存在を知らなかったの  
で、施策立案に役立てたい。
- ・景況調査の項目を知りたい
- ・公表方法の多様化は可能か
- ・データ活用等の結果、各事業者の経営どうなったか
- ・当初の目標を達成することができたことで、今後の売上拡大につなげていただきたいと思います。
- ・資料が小さい
- ・やや見づらい

## 実施内容と自己評価

## 評価委員による評価

### 2. 需要動向調査に関すること

#### ◆ 計画の概要

事業者の製品・商品・サービスに関して、イベント・展示会等を活用した需要動向調査を行い、事業者へフィードバックを行う

#### ◆ 実施内容

・商談会出展時に、各事業者の商品についてアンケート調査 ※アンケート集計（別紙）

地方銀行フードセレクション2024（埜・矢祭） / ビジネスマッチ東北2024（棚倉・鮫川）

地区	事業所名	出展商品	調査数
埜	はなわふれあい農園	パプリカ・ジェラート	22名
矢祭	グリーンルーツ	生ラズベリー、ドレッシング	32名
棚倉	八幡礦業	タナクラクレイ・ミネセラボール	11名
棚倉	緑川化成	タブオープナー・カラフルハッチ	4名
鮫川	関根工務店	小和箆笥	4名

#### ◆ 目標

アンケート調査 対象事業者数	R6	埜町	棚倉町	矢祭町	鮫川村	合計
	目標	1者	1者	1者	1者	4者
	実績	1者	2者	1者	1者	5者

#### ◆ 自己評価

アンケート調査対象事業者数は目標値を達成できた。調査は商談会出展（食品関係・食品以外）の際に行ったが、開催日数や商品の違いもあり、調査数に差が出た。

アンケート結果を事業所にフィードバックし、今後の販路拡大に取り組む支援ができた。

### 2. 需要動向調査に関すること

評価	A	B	C	D
	7	2	0	0

#### ■ 評価委員コメント欄

・事業者選定基準を明確に  
 ・販路拡大、商品開発に有効な事業と思われる  
 ・鮫川村に特化して・・・  
 ・魅力発信、ビジネスマッチングにつながるよい取り組みだと感じた。継続支援を願います。  
 ・バイヤー等の生の声が得られる取り組みでとても良い  
 ・アンケート調査数をさらに増やせるとなお良い  
 ・アンケート結果から今後の販路拡大につなげていただきたいと思います。  
 ・調査後に製作を依頼したいとのアンケート回答もあり、さらに多くの商談があるとよいと思った。

3. 経営状況の分析に関すること

◆ 計画の概要

財務分析やローカルベンチマーク、経営計画つくるくん等を活用し、事業者の経営分析を行い経営計画の策定や経営状況を把握する

◆ 実施内容

- ・経営塾（個別相談会）による経営分析 … 8 者（埴2、棚倉3、矢祭1、鮫川2）
  - ・DX（個別相談会）による経営分析 … 7 者（埴3、棚倉2、矢祭0、鮫川2）
  - ・小規模事業者持続化補助金申請時の分析 … 2 者（埴1、棚倉1、矢祭0、鮫川0）
  - ・いきいき支援事業補助金申請時の分析 … 5 者（埴1、棚倉4、矢祭0、鮫川0）
  - ・融資推薦（マル経等）時の経営状況分析 … 16 者（埴6、棚倉6、矢祭2、鮫川2）
  - ・その他（経営革新、先端設備導入等） … 6 者（埴1、棚倉3、矢祭1、鮫川1）
  - 〃（事業再構築、企業支援補助金） … 7 者（埴0、棚倉6、矢祭0、鮫川1）
  - 〃（経営力向上、資金計画策定） … 9 者（埴4、棚倉4、矢祭0、鮫川1）
- 合計 60 者

◆ 目標

	R6	埴町	棚倉町	矢祭町	鮫川村	合計
経営分析事業者数	目標	12 者	12 者	6 者	6 者	36 者
	実績	18 者	29 者	4 者	9 者	60 者

◆ 自己評価

経営分析事業者数は目標値を超える実績となった。今年度は国の補助金公募が少なかったが、融資推薦や個別相談の際に経営状況分析に加え、町村独自の補助金申請の際に事業者の経営状態を把握し、計画策定に活かす取り組み支援ができた。

3. 経営状況の分析に関すること

	A	B	C	D
評価	6	3	0	0

■ 評価委員コメント欄

- ・商工会として進めるべき支援である
- ・目標を大きく上回っており、多くの事業所で必要性が認識されている
- ・事業者が求めるもの、コトを自治体にもフィードバックしてほしい。
- ・一緒に支援体制を検討したい。
- ・今後の経営に活かしていただきたい

4. 事業計画策定支援に関すること

◆ 計画の概要

DX推進セミナーを開催し、IT導入及び効果的な活用に取り組む  
経営塾により事業計画策定の機会を創出し、実現性の高い事業計画策定の支援をする

◆ 実施内容

・各事業所の事業計画策定支援

- 計画策定（経営革新計画、先端設備導入計画、経営力向上計画、資金計画他）
- 補助金（事業再構築、ものづくり、持続化、いきいき支援事業、棚倉きぎょう支援他）

・DX推進 講師：㈱プレイノベーション 会場：棚倉町商工会館  
セミナー：①9.2（10名）②9.17（7名）個別相談：全13回（8事業所）

・経営塾 講師：グローバルマーケティング㈱ 会場：棚倉町商工会館  
セミナー：①8.28（15名）②9.18（12名）③10.1（8名）個別相談：全20回（7事業所）

◆ 目標

① DX推進セミナー	目標	実績			② 経営セミナー	目標	実績
	1回	1回				1回	1回
事業計画策定 事業者数	R6	埴町	棚倉町	矢祭町	鮫川村	合計	
	目標	12者	12者	6者	6者	36者	
	実績	18者	29者	4者	9者	60者	

◆ 自己評価

セミナー開催及び事業計画策定者数は目標数を達成できた。ただし、複数回に分けセミナーを開催したが、徐々に受講者が少なくなった。次年度はセミナー開催方法を検討したい。

4. 事業計画策定支援に関すること

評価	A	B	C	D
	4	5	0	0

■ 評価委員コメント欄

- ・次年度も力強く進めていただきたい
- ・DXの推進については今後も強化してほしい
- ・事業3と同じ
- ・実績多くて良い
- ・セミナー参加者増やせるとなお良い
- ・各セミナーが今後の経営に活かせることを期待します。
- ・受講者が少なくなっているとの評価なので、募集方法でSNSなどを使って告知しても良いかと思う。
- ・同様にセミナー開催方法の検討をしてほしい。

## 実施内容と自己評価

## 評価委員による評価

### 5. 事業計画策定後の実施支援に関すること

#### ◆ 計画の概要

策定した事業計画が円滑に実施されるように定期的にフォローアップを行い、計画の修正が必要な場合においては、具体的な改善策を提案し、必要に応じて専門家からの指導・助言を行う

#### ◆ 実施内容

- ・事業計画（経営革新計画や各種補助金申請）後の進捗状況及び実績報告の作成支援
- ・フォローアップ事業（経営革新承認者：7名） 講師：綿貫有二（中小企業診断士）  
セミナー（初回）R6.9.27：受講者9名 セミナー②（まとめ）R7.2.18：受講者5名  
個別相談（各事業所の計画策定後の取組み支援及びフォローアップ）全27回（9事業所）

#### ◆ 目標

	R6	埴 町	棚倉町	矢祭町	鮫川村	合 計
フォローアップ 対象事業者数	目標	12 者	12 者	6 者	6 者	36 者
	実績	16 者	22 者	4 者	5 者	47 者
売上増加事業者数	目標	4 者	4 者	2 者	2 者	12 者
	実績	8 者	14 者	2 者	3 者	27 者
フォローアップ 延べ支援回数	目標	48 回	48 回	24 回	24 回	144 回
	実績	68 回	97 回	13 回	15 回	193 回

#### ◆ 自己評価

フォローアップ対象事業者数及び売上増加事業者数、延べ支援回数共に合計で目標数を超える実績となった。また、専門家を一緒に取組んだフォローアップ事業については、継続的な支援により新たな計画（経営革新計画）策定ができ、効果的な取組み支援ができた。

### 5. 事業計画策定後の実施支援に関すること

	A	B	C	D
評価	6	3	0	0

#### ■ 評価委員コメント欄

- ・経営革新計画の2件申請は素晴らしい
- ・支援の回数が多く、それにより効果的になったと思われる
- ・村の実績からB評価とした
- ・次年度以降も事業者に寄り添った支援を願う
- ・売上増加事業者が目標を上回ったことは大変良い
- ・今後も継続が求められる
- ・実施支援が極めて重要であるので、これで終わりではなく継続的にサポートしていただきたい。

実施内容と自己評価

評価委員による評価

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

◆ 計画の概要

商談会（展示会・物産展）等への出展支援やIT活用（DX推進）による、新たな販路の開拓の支援をする

◆ 実施内容

- ・地方銀行フードセレクション（R6.10.29～30、東京ビッグサイト）出展（2事業者）
- ・ビジネスマッチ東北（R6.11.14、夢メッセみやぎ）出展（3事業者）
- ・物産展（スーパーマーケット・トレードショー他）出展（3事業者）
- ・福島県商工会連合会ECサイト「シオクリビト」による販路開拓支援（6事業所）
- ・DX個別相談会（全3回）YouTube・LINE・生成AI・Canva活用、アプリ導入（7事業者）
- ・各事業所のDX取組支援（HP制作、googleマップ、会計ソフト導入等）

◆ 目標

	R6	塙町	棚倉町	矢祭町	鮫川村	合計
商談会参加事業者数	目標	1者	1者	1者	1者	4者
	実績	4者	2者	1者	1者	8者
DX取組事業者数	目標	2者	2者	1者	1者	6者
	実績	5者	12者	2者	2者	21者

◆ 自己評価

商談会参加事業者数・DX取組事業者数共に目標数を超える実績となった。  
 商談会については、食品関係と食品以外の商談会に出展し、3事業者が新規取引との商談成立。  
 DXについては、広告宣伝等の販路開拓に加え業務効率化の取組みにもつながる支援ができた。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

	A	B	C	D
評価	7	2	0	0

■ 評価委員コメント欄

- ・目標を上回る実績が素晴らしい
  - ・今後も継続されたい
  - ・商談会などは参加者を目標にせず商談成立数を検討しては。
  - ・販路開拓につながる取り組みが良い
  - ・昨年より実施内容も増えており今後も期待
  - ・シオクリビトの知名度向上が課題
- 今後も新事業取り組む事業者にさらなる支援をお願いしたい。
- ・新規取引の商談が成立し、結果がでる評価となった
  - ・3事業者の新規取引は素晴らしい

実 施 内 容

評 価 委 員 に よ る 評 価

7. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

◆ 実施内容

・第1回評価委員会

日時 令和6年8月1日（火）午後3時 場所 埴町商工会館

内容 令和6年度経営発達支援事業について 出席 8名 欠席 1名

・第2回評価委員会

日時 令和7年2月21日（金）午後2時30分 場所 埴町商工会館

内容 令和6年度経営発達支援事業の実施報告について 参加者 委員9名

7. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

■ 評価委員コメント欄

・みなさん協力的で良いと感じます  
 ・事業計画報告書に加え、各取り組みの詳細な資料を事前にいただき、時間かけて評価しても良いのでは？  
 ・参加者のアンケート結果も報告していただければ今後改善の参考になります。  
 ・委員会の開催数2回程度で丁度よいと思う。

8. 経営指導員等の資質向上等に関すること

◆ 実施内容

● 中小企業大学校研修（東京校、仙台校）

- ・基礎研修：税務・財務診断 旧基礎研修 I 〈R6. 6. 3～28〉
- ・オーダーメイド研修：事業再構築支援の進め方 〈R6. 9. 12～13〉
- ・専門研修：製造業の新たな分野への進出支援 〈R6. 10. 23～25〉
- ・専門研修：経営者に寄り添う事業継続と資金繰り支援 〈R6. 11. 26～29〉

● その他研修（各専門家・県連・県南地区・各商工会他）

- ・事業承継、後継者育成等支援力強化勉強会 ・業種別講習会
- ・ファンマーケティングセミナー ・経営支援能力強化研修
- ・フェニックス企業変革フォーラム ・金融公庫「電子契約サービス勉強会」

8. 経営指導員等の資質向上等に関すること

■ 評価委員コメント欄

・会員さんのためにがんばってください  
 ・各種研修等の内容については、各会員へ情報提供するとともに、各町村との連携も強化できるよう検討願いたい  
 ・各事業者のため、商工会の持つ役割に期待  
 ・引き続き各事業所に寄り添った支援をお願いします。

経営発達支援計画 事業評価委員会 名簿

委員長 芦田健一（芦田中小企業診断士事務所）

委員 古橋博（埴町商工会長） 大寺弘文（埴町役場まち振興課長） 村越誠（棚倉町商工会長） 佐川久永（棚倉町役場産業振興課長）

佐藤芳則（矢祭町商工会長） 古市賢（矢祭町役場事業課長） 古舘勝人（鮫川村商工会長） 我妻正紀（鮫川村役場農林商工課長）

アドバイザー 松本友香（福島県商工会連合会中通り広域指導センター）